

今年の節分は一二四年ぶりに二月二日です。みなさんは「おには外」の日、豆まきの日とおもっているかもしれませんがね。まきずしをまるかぶりする日ととらえている人もいるかもしれませんが。本来は節分というのはどんな意味があるのか説明しましょう。

一年には四つの季節がありますね。春夏秋冬です。そして、暦の上ではそれぞれの境目が節分なのです。今私たちがつうに節分と呼んでいる節分は、冬と春の境目という意味があったのです。ではほかの境目は？ということが気になるとありますが、本来は春と夏、夏と秋、秋と冬の境目も節分だったのですが今はあまり重視されなくなりました。

その理由はやはり、気候にあるような気がします。寒い冬がやつと過ぎて、おだやかな、あたたかい、過ごしやすい春が来る、ということを昔の人は心のそこからねがったと思うのです。だからこの時期の節分が定着したのではないのでしょうか。次の日が立春です。

「まめ」は「魔滅」に通じるので、悪霊退散の意味でまいたり、食べたりします。また、イワシの頭に柊の枝をさして玄関先につるすのも、同じ意味です。イワシのくささと柊のとげをおにがきらうというのです。

ヨーロッパでもドラキュラよけのおまじないに、入口にニンニクをつるしたりしますが、これもなおいであちらに行ってもらおうという考え方では同じです。

なお、まきずしは大阪の海苔問屋協同組合がイベントではじめたものです。福をまきこむ、縁を切らないということとでまきずしをまるかぶりするんですって。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

② 節分のもともとの意味はなんですか？

③ 二月の節分は何と何の境目ですか？

④ 節分の次の日はなんという日ですか？

⑤ ドラキュラのニンニクは節分の何と同じ？

（ ） サバ（ ） イワシ（ ） まめ

⑥ 悪霊退散の意味を調べてうつしましょう？

⑦ なぜ節分の日まきずしなんですか？

⑧ なぜ節分のまきずしは切らないんですか？

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ） 古代から節分にはまきずしのまるかぶりをしていた。

（ ） 節分の前の日が立春である。

（ ） 日本人は寒い冬が苦手だった。

（ ） 節分にまめをまいたり食べたりするのはまめにはたらけるように、である。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できればは？

